

2002年12月



### わが国初の本格的な 指示者追尾型ロボット「セコムロボット」

このたび開発したわが国初の本格的な指示者追尾型ロボット「セコムロボット」は、指示者(現送隊員)を認識し、障害物を避けながら平地はもちろん、スロープや階段も走行、襲撃された際の撃退装置も備えています。今後、来年度中にセコムの現金護送業務の中での実用化をめざしていきます。



## も く じ

株主のみなさまへ	2
最新のご報告 「社会システム産業」の本格展開に向け 新しいロボットを開発	3
部門別売上高内訳・推移	5
業績の推移・資産状況	5
中間貸借対照表	6
中間損益計算書	7
要約中間連結貸借対照表	8
要約中間連結損益計算書	8
グループ会社の現況	9
株式情報	10

# 株主のみなさまへ



本年も残すところあとわずかとなりましたが、株主の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、わが国の経済は、個人消費を中心とする内需が引き続き低迷し、最近では株価がバブル崩壊後の最安値を更新するなど、不安定な動きを続けており、政府による総合的なデフレ対策が期待されるところです。

こうした中であって、当中間期の業績は以下の通りであります。売上高が1,374億円、経常利益302億円、当期利益は177億円、1株当たり利益は76.82円となりました。

売上げの主なものは、セントラライズドシステム契約1,020億円、常駐契約88億円、現金護送契約72億円、商品・機器の販売131億円となりました。

当中間期の連結決算につきましては、売上高が2,392億円、経常利益319億円、当期利益159億円、1株当たり利益は68.99円となりました。

当社は、創立40周年を迎えた本年を「新生セコムへの第二の創業」の年と位置づけ、グループをあげて「社会システム産業」の本格展開に取り組んでおります。その記念事業の一環として、セコムグループがめざす「社会システム産業」の全貌をご紹介した「セコムフェア2002」を、10月2日の東京を皮切りに全国5都市で開催し、多くの方々にご来場いただきました。

今回のセコムフェアでは、現金護送業務用に開発したわが国初の指示者追尾型ロボット「セコムロボット」を初公開いたしました。今後も、“あらゆる不安のない社会”の実現に向けて、革新的で先進的なサービスシステムの開発を行うとともに、企業・家庭向けセキュリティシステムと情報、メディカル、教育、保険、地理情報サービス分野でのサービスシステムとのシナジー効果を高めて参りますので、私どもに対しまして深いご理解を賜り、なお一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

2002年12月

セコム株式会社代表取締役社長

本村 昌平

# 「社会システム産業」の本格展開に向け 新しいロボットを開発

## わが国初の指示者追尾型ロボット「セコムロボット」を開発



セコムは、これまで培ったロボットやセンシング技術を最大限に生かし、人の行動の代わりが確実にできる、わが国初の本格的な指示者追尾型ロボット「セコムロボット」を開発しました。

セコムでは、今年5月、手の不自由な方が簡単な操作で自分のペースで食事をすることをサポートする、食事支援ロボット「マイスプーン」を発売しましたが、このたび開発した「セコムロボット」は、現金護送業務において、現送隊員に代わってその業務を行うものです。

音声により指示者(現送隊員)を認識して起動し、現金運搬の際には、自ら障害物を認識・回避しながら、平地やスロープはもちろん、階段も自在に昇降して指示者を追跡していきます。さらに緊急時には、威嚇音・音声警告に加え、電撃装置や発煙装置などにより、現金や貴重品を襲撃犯から防御する機能ももった近未来型ロボットです。

セコムでは、この「セコムロボット」を来年度中にセコムの現金護送業務のなかで実用化することをめざすとともに、今回のプロトタイプをベースにして、セキュリティのほか、医療・福祉などいろいろな分野で人間の代わりになり、力強いパートナーとなるロボットの開発を行っていきます。

## わが国初の本格的な情報金庫 「セコム情報金庫」を発売

サイバーセキュリティサービスを提供しているセコムトラストネット(株)は、このたび、セコムのセキュリティノウハウをふんだんに盛り込んだ、わが国初の本格的な情報金庫「セコム情報金庫」を発売しました。

住基ネットの開始や個人情報流失事件など、企業や組織(自治体および団体)にとって、データの保管場所や取扱いに対するセキュリティ対策が必要不可欠となっています。そのためのセキュリティレベルの高いデータセンターの構築には、多額の投資とセキュリティに詳しい技術者が必要であり、一方で重要データを外部のデータセンターに預けることが内部の規約等で制限されていることもあります。

こうした背景のもとセコムトラストネット(株)は、サーバーラックそのものを空調や新八ロンガス自動消火設備を備えた金庫内に納め、不正アクセスやウイルスの24時間監視サービスなどもオプションで付加できる「セコム情報金庫」を発売。データセンターとしての機能が備った本格的な情報金庫として、今後その普及を図っていきます。

## 「3大テノール・ラスト・コンサート」に特別協賛

セコムは、1962年にわが国初のセキュリティ会社として創業して以来、社会に安全・安心を提供し、今年創立40周年を迎えました。

これを記念する行事の一環として、6月27日、新横浜の「横浜アリーナ」で開催された、ルチアーノ・パヴァロッティ、プラシド・ドミンゴ、ホセ・カレーラスによる「3大テノール・ラスト・コンサート」に特別協賛しました。

90年にサッカーのワールドカップ・イタリア大会の決勝戦前夜祭として開催され、その後恒例化した世紀の大イベントは、3人の高齢化もあって、ワールドカップにあわせたコンサートは今回で最後となります。世界のスーパースターである3大テノールの迫力ある熱唱は、ラスト・コンサートにふさわしく満員の観客を魅了しました。



熱唱する3大テノール

## 全国5都市で「セコムフェア2002」を開催

創立40周年を迎え、セコムグループが本格展開をはかる「社会システム産業」の全貌をご理解いただくために、10月2～4日の東京に加え、名古屋、大阪、仙台、福岡の全国5都市で、12年ぶりとなる「セコムフェア2002」を開催し、多



大盛況のセコムフェア2002

くの方々にご来場いただきました。

このセコムフェアでは、お客様の視点に立って用途や建物にあわせた各種セキュリティシステムや安全商品のほか、情報、メディカル、教育、保険、地理情報サービスの各事業分野におけるサービスやシステムを一堂に集め、デモンストレーションなどを通じてわかりやすくご紹介しました。

中でも、このたび現金護送業務用に開発した、わが国初の指示者追尾型ロボット「セコムロボット」に注目が集まり、どの会場でも、専用ブースを何重にも来場者が取り囲んで大盛況となりました。

## NHK「プロジェクトX」でセコム創業物語を放送

10月8日(火)夜9時15分から、NHKテレビの人気番組「プロジェクトX」で、セコムの草創期の物語が放送されました。

そのストーリーは、昭和37年の創業時の話から始まり、東京オリンピックの警備、テレビドラマ「ザ・ガードマン」で知名度が高まるものの、契約が伸びなかった危機を乗り越え、44年の「SPアラーム」による連続ピストル射殺事件の犯人逮捕をきっかけに、現在のセコムの飛躍が始まったところまでが描かれました。

セコムの原点が紹介されただけに、多くの方々からご意見・ご感想が寄せられるなど、大きな反響を呼びました。



「プロジェクトX」スタジオ収録シーン

## 長嶋さん出演の新テレビコマーシャル、オンエア



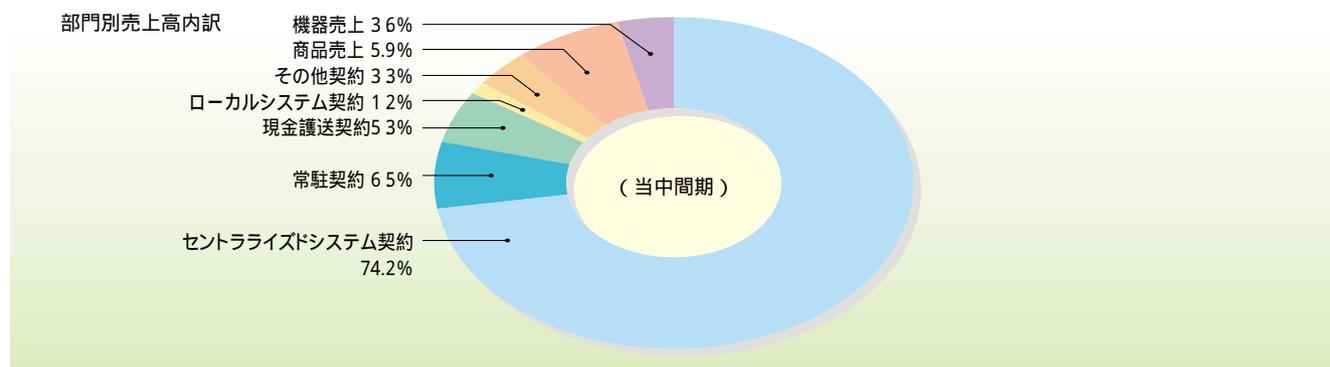
長嶋茂雄さん出演でおなじみの「セコム・ホームセキュリティ」の新テレビコマーシャルが、11月から全国でオンエアされています。

今回は東京都江東区にある臨海副都心のお台場で初の屋外ロケを行い、長嶋さんが近未来的な霧困

気を漂わせた空港のコンコースをさっそうと歩くシーンを撮影。「セコム・ホームセキュリティ」のクオリティの訴求をはかり、メッセージを鮮明にするために、ナレーションも敢えて長嶋さんの一言、「そのクオリティがセコムです」に留めています。

# 部門別売上高内訳・推移

区分	期別	当中間期 (2002年4月～2002年9月)		前中間期 (2001年4月～2001年9月)		前期 (2001年4月～2002年3月)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
契約収入部門	セントライズドシステム	102,015	74.2	98,329	72.5	198,881	72.4
	ローカルシステム	1,629	1.2	1,665	1.2	3,313	1.2
	常駐	8,866	6.5	8,827	6.5	17,687	6.4
	現金護送	7,285	5.3	6,949	5.1	14,132	5.2
	その他	4,523	3.3	4,948	3.7	9,999	3.6
	小計	124,320	90.5	120,721	89.0	244,014	88.8
売上部門	商品	8,112	5.9	9,710	7.2	18,999	6.9
	機器	5,003	3.6	5,143	3.8	11,654	4.3
	小計	13,116	9.5	14,854	11.0	30,654	11.2
	合計	137,436	100.0	135,575	100.0	274,669	100.0



# 業績の推移・資産状況

項目	期別	当中間期 (2002年4月～2002年9月)	前中間期 (2001年4月～2001年9月)	前期 (2001年4月～2002年3月)
売上高		137,436 百万円	135,575 百万円	274,669 百万円
中間(当期)利益		17,713 百万円	17,325 百万円	16,948 百万円
総資産		561,368 百万円	544,899 百万円	570,769 百万円

# 中間貸借対照表

(2002年9月30日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部	
流動資産	164,313
現金及び預金	94,074
受取手形	320
未収契約料	8,270
売掛金	3,536
未収入金	2,425
有価証券	451
商品	6,422
貯蔵品	1,564
前払費用	2,630
繰延税金資産	4,956
短期貸付金	40,208
その他の流動資産	2,410
貸倒引当金	2,958
固定資産	397,054
有形固定資産	131,196
建物	20,668
車両	585
警報機器及び設備	62,145
警備器具	1,496
器具備品	3,339
土地	41,727
建設仮勘定	1,210
その他の有形固定資産	22
無形固定資産	13,950
電話加入権	2,010
電信電話専用施設利用権	581
ソフトウェア	10,210
その他の無形固定資産	1,148
投資等	251,907
投資有価証券	53,195
子会社株式・出資金	132,997
長期貸付金	9,785
敷金保証金	8,493
長期前払費用	18,983
繰延税金資産	18,866
保険積立金	5,763
その他の投資等	5,432
貸倒引当金	1,611
資産合計	561,368

負 債 の 部	
流動負債	127,913
買掛金	1,322
短期借入金	51,131
未払金	8,306
未払法人税等	12,989
未払消費税等	1,880
未払費用	575
預り金	20,750
前受契約料	21,036
設備購入未払金	3,227
賞与引当金	5,236
その他の流動負債	1,458
固定負債	73,965
社債	30,000
転換社債	18
預り保証金	16,709
退職給付引当金	27,238
負債合計	201,878

資 本 の 部	
資本金	66,368
資本剰余金	82,544
資本準備金	82,544
利益剰余金	253,532
利益準備金	9,028
任意積立金	3,039
システム開発積立金	800
買換資産圧縮積立金	27
別途積立金	2,212
中間未処分利益	241,465
〔うち中間利益〕	〔17,713〕
株式等評価差額金	730
自己株式	43,687
資本合計	359,489
負債及び資本合計	561,368

# 中間損益計算書

(2002年4月1日から2002年9月30日まで)

(単位:百万円)

<b>経常損益の部</b>		
営業損益の部		
売上高		137,436
売上原価	74,419	
販売費及び一般管理費	33,854	108,273
営業利益		29,162
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息	535	
受取配当金	2,393	
その他の営業外収益	239	3,168
営業外費用		
支払利息	204	
固定資産売却廃棄損	540	
貸倒引当金繰入額	215	
その他の営業外費用	1,161	2,121
経常利益		30,208
<b>特別損益の部</b>		
特別利益		
厚生年金基金代行部分に係る 過去勤務債務処理益	5,958	
その他の特別利益	440	6,399
特別損失		
警報機器及びたな卸資産評価損	2,896	
子会社株式評価損	2,868	
投資有価証券評価損	1,077	
その他の特別損失	93	6,936
税引前中間利益		29,671
法人税、住民税及び事業税		12,526
法人税等調整額		568
中間利益		17,713
前期繰越利益		223,751
中間未処分利益		241,465

# 要約中間連結貸借対照表

(2002年9月30日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部	
流 動 資 産	415,687
有 形 固 定 資 産	221,471
無 形 固 定 資 産	35,650
投 資 そ の 他 の 資 産	373,746
繰 延 資 産	207
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,046,763</b>

負 債 の 部	
流 動 負 債	250,589
固 定 負 債	419,618
<b>負 債 合 計</b>	<b>670,207</b>
<b>少 数 株 主 持 分</b>	<b>26,073</b>
資 本 の 部	
資 本 金	66,368
資 本 剰 余 金	82,544
利 益 剰 余 金	256,721
その他有価証券評価差額金	74
為 替 換 算 調 整 勘 定	11,540
自 己 株 式	43,687
<b>資 本 合 計</b>	<b>350,481</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>1,046,763</b>

# 要約中間連結損益計算書

(2002年4月1日から2002年9月30日まで)

(単位:百万円)

売 上 高	239,204
売 上 原 価	143,809
<b>売 上 総 利 益</b>	<b>95,395</b>
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	61,462
<b>営 業 利 益</b>	<b>33,932</b>
営 業 外 収 益	3,151
営 業 外 費 用	5,096
<b>経 常 利 益</b>	<b>31,988</b>
特 別 利 益	8,758
特 別 損 失	8,147
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>32,599</b>
法人税、住民税及び事業税	16,827
法 人 税 等 調 整 額	897
少 数 株 主 利 益	761
<b>中 間 純 利 益</b>	<b>15,907</b>

## 参 考

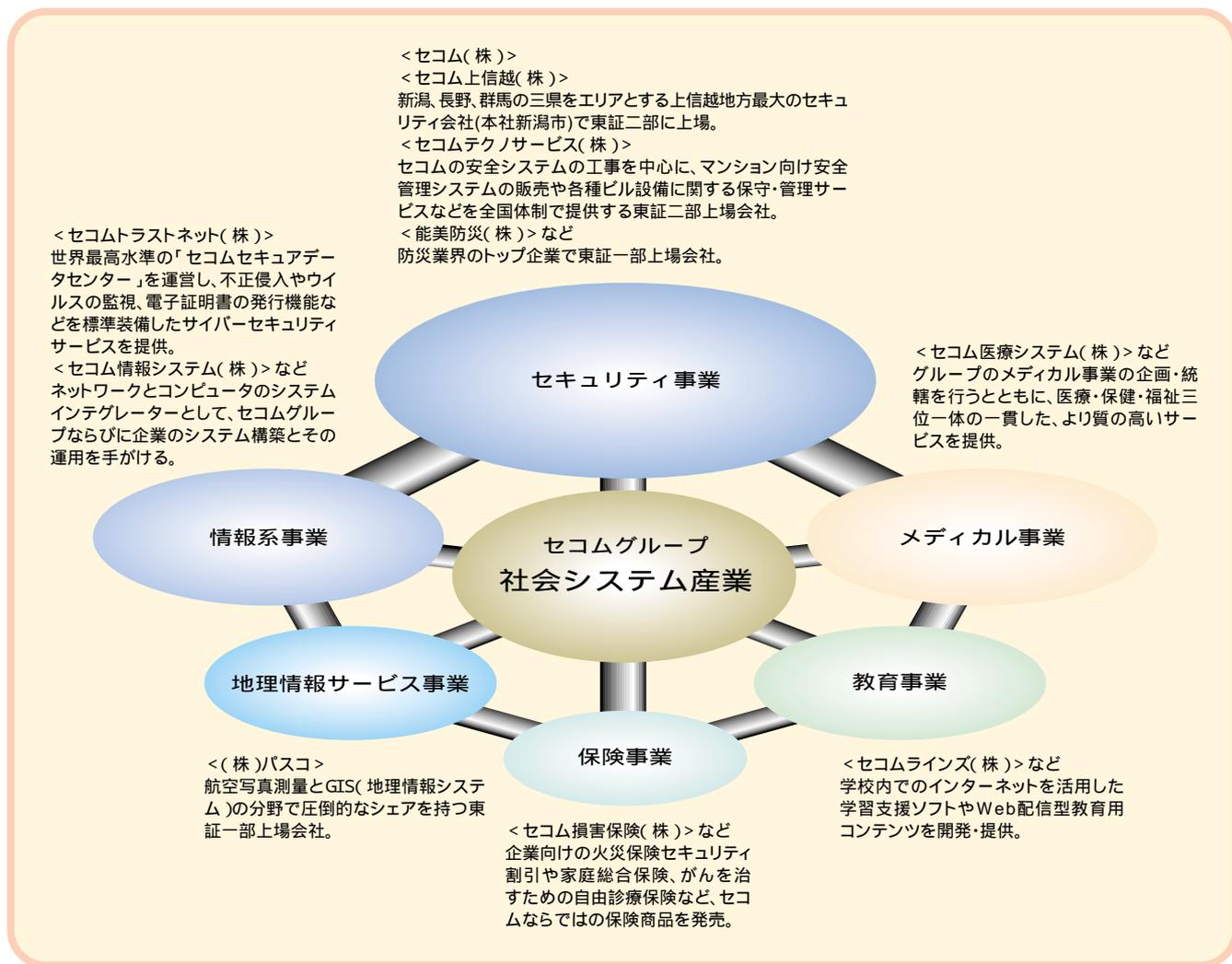
連 結 子 会 社 数	122社
持 分 法 適 用 関 連 会 社 数	37社
1 株 当 た り 中 間 純 利 益 (期中平均株式数により算出)	68円99銭

(注)

金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# グループ会社の現況

創立40周年を迎え、「社会システム産業」の本格展開をめざすセコムグループ。現在、セキュリティをはじめ、情報、メディカル、教育、保険、地理情報サービスの各事業分野で、子会社122社と関連会社37社が、“あらゆる不安のない社会”の実現のために日々活動しています。

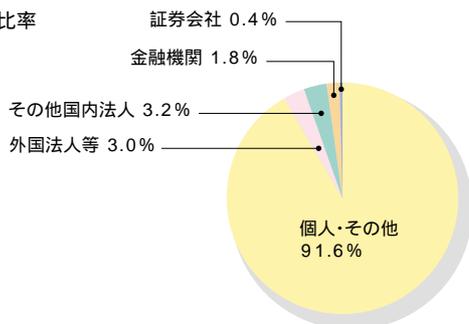


# 株式情報

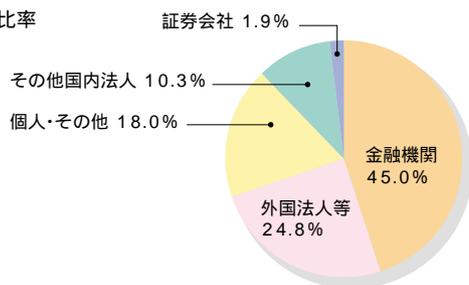
## 株式の状況(2002年9月30日現在)

1. 会社が発行する株式の総数 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 233,281,133株
3. 1単元の株式数 500株
4. 株主数 19,255名
5. 所有者別状況

株主数比率



株式数比率



## ホームページのご案内

会社情報・IR情報などは

<http://www.secom.co.jp/>

商品・サービスのご案内、セコムの食などは

<http://www.secomtown.com/>

## 株主メモ

決算期 3月31日

定時株主総会 6月下旬

株主配当金支払株主確定日 3月31日

中間配当制度 なし

基準日 3月31日

(その他必要あるときは、あらかじめ公告した日)

公告掲載新聞 日本経済新聞

(当社は、日本経済新聞に掲載していましたが決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ(<http://www.secom.co.jp/bspl/>)に掲載しております。)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部

大阪証券取引所市場第1部

名義書換代理人

東京都千代田区永田町2丁目11番1号

三菱信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区永田町2丁目11番1号

三菱信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先(郵便物送付、電話照会)

〒171-8508

東京都豊島区西池袋1丁目7番7号

三菱信託銀行株式会社 証券代行部

電話(03)5391-1900(代表)

同取次所

三菱信託銀行株式会社 全国各支店

(注)上記名義書換代理人住所および同事務取扱場所は、平成15年5月6日に次の場所へ移転いたします。  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
(なお、名義書換代理人連絡先の住所および電話番号は変更ございません。)

## お知らせ

1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております。
2. 配当金を郵便貯金口座へお振り込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。